

「全鍍連」 2022年 6月号 若者から一言

愛知県鍍金工業組合

名鍍会 会長 岩崎 学 (株)日比野鍍金工業所 統括工場長)

「出会いに感謝」



愛知県鍍金工業組合の青年部『名鍍会』の会長を務めさせて頂いております岩崎学と申します。諸先輩方、全国の青年部の皆様方には、日頃から大変お世話になり感謝しております。

私は、2001年25歳の時に株式会社日比野鍍金工業所へ当時はアルバイトとして入社致しました。当時は同級生とバンドを組み音楽活動をメインとしており、そういった状況を前社長にご理解を頂き働かせて頂いておりました。当時の弊社は職人氣質の方が多く仕事に関しては非常に厳しく毎日叱られながら作業をしていました。1ヶ月程立つ頃には、仕事終わりに飲み連れに連れて行ってもらったり、休みの日にはお家に招いてもらい食事をさせていただくこともありました。こういった恵まれた環境の中で少しずつ仕事を覚え、色々な経験をさせていただきました。30歳を過ぎた頃に結婚をし、音楽活動も自分で納得が行くまでやり切ったため正社員として働き始めました。2009年に新工場の立上げを任せられ、工場長になった2013年にご縁があり名鍍会に入会をさせていただきました。入会后数年が経つと、全鍍連での行事に参加させていただく機会が増え、そこでまた色々な方達と出会うことができました。その中で出会った業界の諸先輩方、全国の青年部の皆様はいつも同じ目線でお話をしてくださいませし、また私の話もよく聞いて下さいました。これには私自身凄く感銘を受けました。皆様方に出会えたことに心から感謝しております。

名鍍会の活動についてですが、コロナウィルス感染症の影響を受け今まで通りの活動を出来ない状況が続いておりますが、例会はWeb開催するなど色々模索しながらも今だから出来る形での活動をしております。東京の十日会、大阪の青研会と共に活動している日本鍍金協会が昨年60周年を迎え、今回は名鍍会の担当ということで色々企画をいたしました。コロナで一年活動の休止を余儀なくされ、1年1ヶ月ほど遅れましたが4月30日に記念式典を開催いたします。これも皆様方のご理解ご協力があったことだと思います。我々青年部は今出来ることを新しいスタイルで伝統を引き継ぎながら業界の発展に貢献して行きたいと思っております。

今後共、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。また皆様と会える事、新しい出会いを楽しみにしています。